

第一回 上野松楓会定期能楽会

令和八年四月四日(土) 午後一時始

高砂

赤井きよ子

上野 雄介

能

喜多 雅人

中村 宜成

間 山下 守之

後見

野村 昌司

地謡

篠崎 珠樹

上野 朝彦

上野 朝義

伊原 昇

今村 哲朗

田口 亮二

仕舞

屋島 伊原 昇

雲雀山 前田飛南子

地謡

渡邊 瑞子

上野 朝義

赤井きよ子

狂言

佐渡狐

茂山千五郎

松本 茂

後見

茂山 竜正

胡蝶

上野 雄三

能

江崎 欽次郎

松本 義昭

間 茂山 竜正

後見

上野 雄介

地謡

篠崎 珠樹

渡邊 瑞子

伊原 昇

上野 朝義

今村 哲朗

附祝言 終演予定十六時三十分頃

『高砂』 肥後国、阿蘇宮の神主・友成(ワキ)は、都へ向かう途中、播州・高砂の浦に立ち寄り、そこで松の木陰を掃き清める老夫婦に、この高砂にある松と、離れて住吉に立つ松がなぜ相生(夫婦)の松と呼ばれるのかを尋ねると、老夫婦(前シテ・ツレ)は松の謂われをさまざまに語って聞かせ、自分たちが松の精であると正体を明かし、「住吉で待っています」と告げて、小舟で沖へと消えていった。(中入) 月の出とともに人の後を追う、船を進めた友成が住吉の岸に着くと、澄んだ月明かりのもとに住吉明神(後シテ)が降臨し、千秋万歳を祝って颯爽と舞い、泰平の御代を祝福する。

『佐渡狐』 越後と佐渡の百姓が、都へ年貢を納めに行く途中に道連れに。佐渡に狐がいるかいないかを言い争い、小刀を賭け、奏者(役人)に判定をしてもらうことに。佐渡の百姓は奏者に賄賂を贈って狐の姿形を教えてもらう。年貢を納め終わり、さて奏者の出した賭けの判定は...

『胡蝶』 旅の僧(ワキ)が都の古宮で今を盛りの梅を眺めていると、一人の女(前シテ)が現れ、自分は胡蝶の精だと明かすと、早春の梅の花だけは縁が薄いと嘆き、法華経の功德を受けて成仏したいと言って消える。(中入) 僧の夢に胡蝶の精(後シテ)が現れ、法華経の功力によって成仏し、「源氏物語」の歌のように、梅花と隔てのない間柄となったことを喜び、花に飛びかう胡蝶の舞を見せ、歌舞菩薩の面影を残して去る。

「高砂・胡蝶」の演目解説講座

定期能をより楽しむために

「高砂」 2月27日(金)

「胡蝶」 3月27日(金)

昼の部 午後1時〜午後2時半  
夜の部 午後6時〜午後7時半

料金 2000円

会場 朝陽会館 大阪市北区天神橋一の一七の八

お問い合わせ先

朝陽会館 06(6357)0844

info@choyokaikan.com

【第2回上野松楓会定期能楽会】

令和8年8月8日(土) 午後1時始

能 巴

狂言 腹不立

葵上 梓之出

上野 朝義  
善竹彌五郎  
赤井きよ子



○大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、  
⑩番出口南へ約300mまたは谷町線・鶴見緑地線  
「谷町六丁目」下車⑦番出口北に360m  
○市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へす  
ぐ ※大阪駅前から62系統「住吉車庫前」行乗車

※本公演における許可のない写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録画は固くお断り致します。  
・発熱や咳など、風邪の症状がみられる場合はご来場をお控えいただきますようお願い致します。